

第1部 在学中～卒業後(就職後) も利用できる各種支援について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部
沖縄障害者職業センター

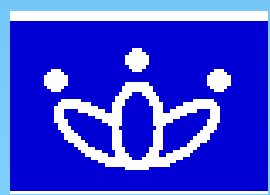
障害のオープン・クローズについて

- * 障害を伝えるか、伝えないかで、働き方や、働きやすさが変わってきます。
- * どちらがよいかは人それぞれの選択になります。
- * 沖縄障害者職業センターでは、これらについての相談も行っています。
- * 次ページから、当センターで実施するオープンセミナーの資料を基に、オープン・クローズについて説明します。



オープン・クローズの選び方！

(令和3年度バリアフリーキャンパス研究会用修正版)



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部

沖縄障害者職業センター



オープン・クローズって何？



クローズとは...障害や病気を会社に伝えない

一般的な就職活動や働き方



学校を卒業してしばらくブランクがある場合や、離転職をくり返している場合などは、面接での説明の仕方を検討しておくことも必要です。



オープン・クローズって何？

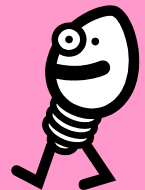


オープンとは...障害や病気を会社に伝える

**自分の努力だけで克服しようとするのではなく、
周囲のサポートや配慮を得て働く**



ただし...オープンにしても、
一職業人として必要な自己管理や対応力は
どの会社でも求められます。





クローズの場合はどうなるの？



○メリット○

- 求人数が多いため、面接のチャンスが多い。
- 自分のやりたい仕事の面接が受けやすくなる。
- 給与や条件面が満足のものとなる。

など

×デメリット×

- 障害や病気を隠すことがつらいこともある。
- 仕事内容や通院時間等に関して周囲からの理解を得にくい。
- 体力的な負担や精神的なストレスが大きくなる。

など



オープンの場合はどうなるの？



○メリット○

- 隠す必要がなく精神的に楽。
- 仕事内容や時間など会社に配慮してもらいやすい。
- 通院や体調不良を申し出るときに周囲の理解を得やすい。
- さまざまな支援制度やサービスを利用しやすい。

など

×デメリット×

- 障害や病気のことを会社がどのように理解するか不明。
- 一般求人と比べ障害者求人は数が少ない。
- 仕事内容や条件面が希望通りにならないこともある。

など



一般的には...



オープン

クローズ

- ・面接チャンスが少ない
- ・希望に合う仕事が見つげにくい

就職前

- ・面接チャンスが多い
- ・希望に合う仕事が見つげやすい

- ・サポートや配慮が受けられる
- ・長く働きやすい

就職後

- ・障害を前提としたサポートや配慮は得られにくい

Point!

障害のオープン・クローズの選択



仕事を探す上で何を優先するか？

- * やりたい仕事？
- * できる（自信のある）仕事？
- * 面接・就職チャンスが多さ？
- * できるだけ長く働ける職場環境？ など
- * 求人によりオープン・クローズを使い分ける方法もあります。
- * 特定の人（上司・同僚等）にだけ、オープンにして配慮してもらう方法もあります。



自分にできること（経験やスキル）と就職する上での課題をしっかりと整理することが大切！

沖縄障害者職業センターの支援内容

* 障害のある方の職業相談・職業評価

(相談例)

- 得意や苦手、障害特性の整理
- 力を発揮しやすい働き方
- 職場に求める配慮事項
- 求職活動に向けた取り組み方

詳しくは次ページ以降でご紹介します。

沖縄障害者職業センター 活用ガイドブック

(令和3年度バリアフリーキャンパス研究会用修正版)



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部

沖縄障害者職業センター

那覇市おもろまち1丁目3番25号 沖縄職業総合庁舎5F

TEL (098) 861-1254

FAX (098) 861-1116

当機構ホームページ

<http://www.jeed.go.jp/>



目次

(1～2は、今回の説明では省略します)

- 3 支援内容の説明
 - 3-1 オープンセミナー
 - 3-2 職業相談・職業評価
 - 3-3 職業準備支援
 - 3-4 ジョブコーチ支援
 - 3-5 リワーク支援
 - 3-6 事業主支援

3 支援内容の説明

3-1 オープンセミナー

3-1 オープンセミナー（業務説明会）

沖縄障害者職業センターどんな所？

沖縄障害者職業センターの支援内容を知ることができるセミナーです。

参加して支援を活用してみませんか？就職活動をサポートします！

障害のある方々にこんな悩みや不安、希望ありませんか？

- 就職活動を手伝ってほしい！
- 自分に向いている仕事って…何？
- 自分の障害をうまく職場に伝えたい！
- 一生懸命やっってるのに長続きしない…
- 就職後も支援を受けたい。

精神障害の方

- 次こそは長く安定して働きたい。
- 職場でストレスとうまく付き合う方法を知りたい。
- つい無理をしながら働き続けて体調を崩してしまう…。

発達障害の方

- 得意なこと、苦手なことを知りたい。
- 職場の人とうまくコミュニケーションをとりながら働きたい。
- 指示通り仕事をしていただけ、叱られてばかりだった…。

オープンセミナー参加後は以下の支援が活用できます！

☆職業評価

☆職業準備支援

☆ジョブコーチ支援

オープンセミナーの申込み・スケジュール

対象者：障害がある求職者の方々（HW登録の有無、手帳の有無などは問いません。）、
まずは「**職業センターの支援内容を知りたい**」方、「**就職の際に障害のオープン・クローズを迷っている方**」にご参加いただけます。

※福祉機関、医療機関等の支援者の方やご家族も参加できます。

日時：隔週火曜日の午前10時～12時

場所：沖縄障害者職業センター

申し込み方法：事前予約制です。電話もしくは来所にて、「オープンセミナー参加希望」とお伝えください。ご本人のお名前、連絡先、同行者の有無、その他（来所経路、障害種別等）をお聞きします。

●当日のスケジュール

- 10:00～ ●**オープン・クローズ講座（希望者のみ）**
- ・「障害を伝えて働く」、「障害を伝えずに働く」、それぞれのメリット・デメリットについて説明します。今後の働き方の参考にしてください。
- 10:20～ ●**沖縄障害者職業センターの支援内容説明**
- ・職業評価・職業準備支援・ジョブコーチ支援等について説明します。
- 11:00～ ●**カウンセラーとの個別相談**
- ・希望者のみ、1人20～30分程度で実施します。

※オープン・クローズ講座を希望されない方は、10:20からの参加も可能です。

オープンセミナーに関するQ&A

Q. 個別相談は必ずしなければなりませんか？

A. オープンセミナーに参加した日に必ず相談しなければならないわけではありません。セミナーを受けて、利用についてはもう少し考えたい場合は帰宅していただき、検討した結果、相談してみたくなくなった時は、電話、もしくは来所して「〇月〇日のオープンセミナーに参加した〇〇です。」とお伝えください。

Q. 対象者がどうしても火曜日に参加することができないのですが？

A. 電話連絡をいただければ、個別に実施することも可能です。カウンセラーと日程調整をして来所していただきます。

Q. 支援者や家族が同行しても良いのでしょうか？

A. 可能です。同行する場合は、申込時にその旨をお伝えください。

3-2 職業相談・職業評価

3-2 職業相談・職業評価

- どんな職場や仕事内容だと長く続けられるだろうか。
 - 就職の際に障害のオープン・クローズで悩むなあ。
 - 自分の得意な点、苦手な点を整理したい。
 - 職場の人間関係で悩んでいるんで相談したい。
- ・・・など

◎就職に向けて、センター利用者に対してまずは**職業相談・職業評価**を実施。ご自分のことをよく知るために、職歴や情報の整理、作業や検査などをします。

◎ご本人の得意な点、苦手な点、職場で配慮が必要な点などを整理するものです。課題のみに焦点を当てずに、「強み」を見つけて、就職の可能性をできる限り模索するものです。

- 性格特徴や障害特性は？
- 就職への基本的な準備性は？
- 今までの職業経験は？
- 作業の得意・不得意は？
- 職場で必要な配慮事項は？
- 職場、就労環境は？

職業評価の例

各種検査



※各作業がどれくらいできるかどうかだけでなく、集中力・正確性・作業速度・作業で現れる疲労やストレスなどの様々な仕事に関わってくる個人の特性を確認します。
※全員がすべてを実施するわけではありません。

身体を使う作業

ピッキング



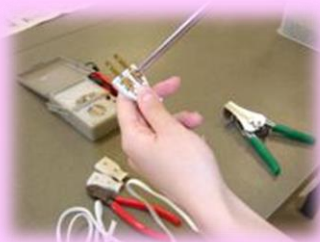
野菜の袋詰め・ラッピング



事務作業



物の組み立て作業



畳み作業



PC作業



職業相談から職業評価への流れ

職業相談

- 就職の希望条件とその理由の整理（職種・勤務地・勤務時間・収入など）
- これまでの職歴(生活歴)の振り返り→職業上の強みと弱み、考え方の傾向の整理→必要に応じて対応策の検討

各種検査

- 厚生労働省編一般職業適性検査、性格検査、職業興味検査、ストレス・疲労に関するアセスメントなど

作業体験

- 模擬的就労場面での作業体験
- 身体を動かす作業（ピッキング、組立作業、野菜の袋詰め、清掃など）
- 事務作業、PC入力作業

振り返り

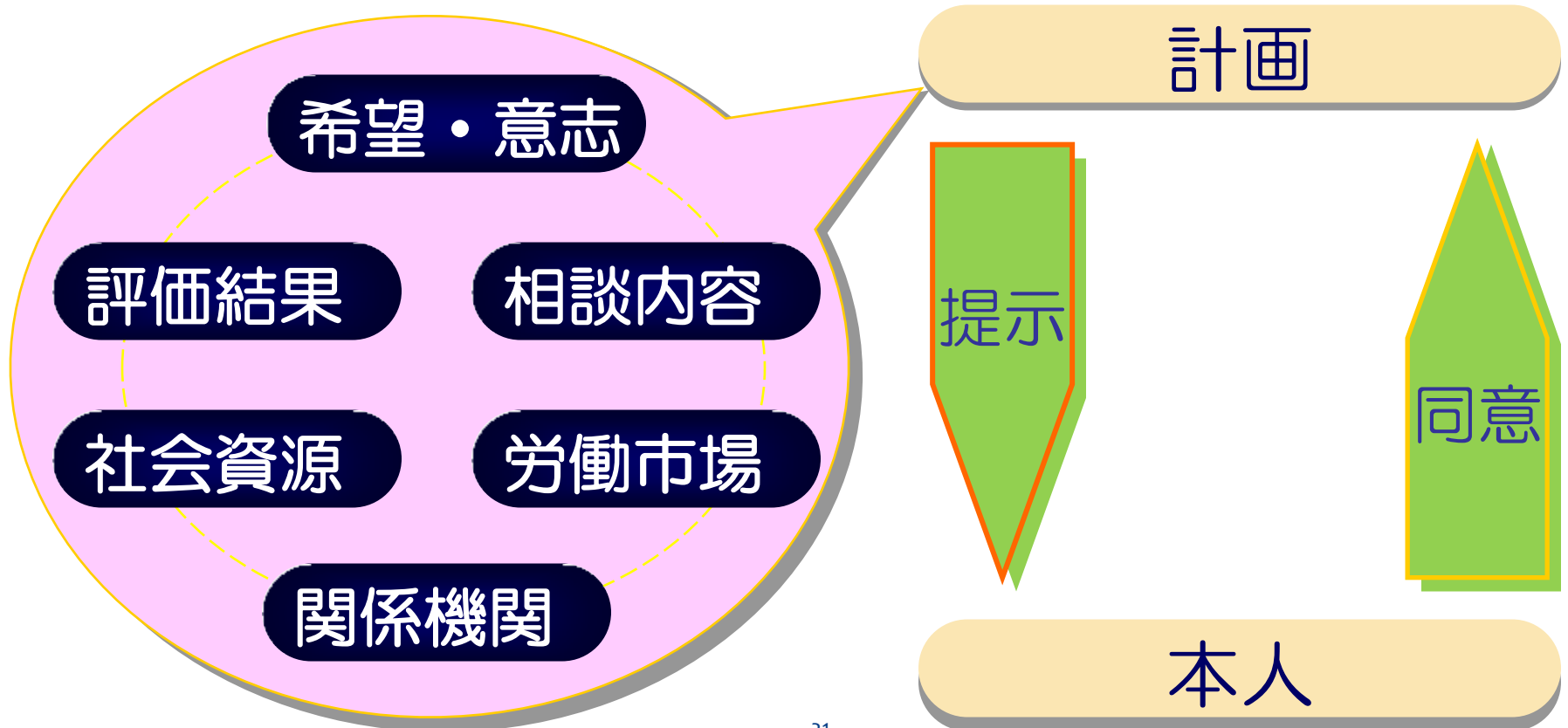
- 検査結果を説明するとともに、作業を体験してみたの本人の感想を確認し、自己の特徴に関する気づきを促します。支援の方向性についても相談します。

支援計画 策定

- 職業相談、職業評価の結果や本人の希望などを踏まえて、今後、安定した職業生活を送るための支援計画を作成します。
- 本人が同意した計画に沿って職業準備支援やジョブコーチ支援、求職活動支援などを実施していきます。

職業リハビリテーション計画

職業評価を実施した方に対しては、就職に向けた支援計画（今後のプラン）を作成します。



職業相談・職業評価に関するQ&A

Q 検査は必ず受けなければいけないのでしょうか？

A 検査や作業などは本人に必要、有効と思われるものを提案させていただきますが、ご本人が実施したくないものについては実施せず、他の方法を提案します。

Q どれくらい時間や期間がかかりますか？

A 個人によって異なるため、一概には言えませんが、ご本人のご希望を踏まえて、スケジュールを決定します。

Q 職業評価は、就職できるか、できないかを判定するのですか？

A 職業評価は、判定ではありません。
職務遂行での得意・不得意や職場での配慮事項等を整理して、就職や定着への道筋を立てるものです。

Q 職業相談・職業評価を受けるには、必ず職業センターに行かなくてはならないのですか？

A 原則は、職業センターで実施していますが、ご本人の状況に応じて、支援機関や事業所、ハローワーク等で実施することも可能です。

3-3 職業準備支援

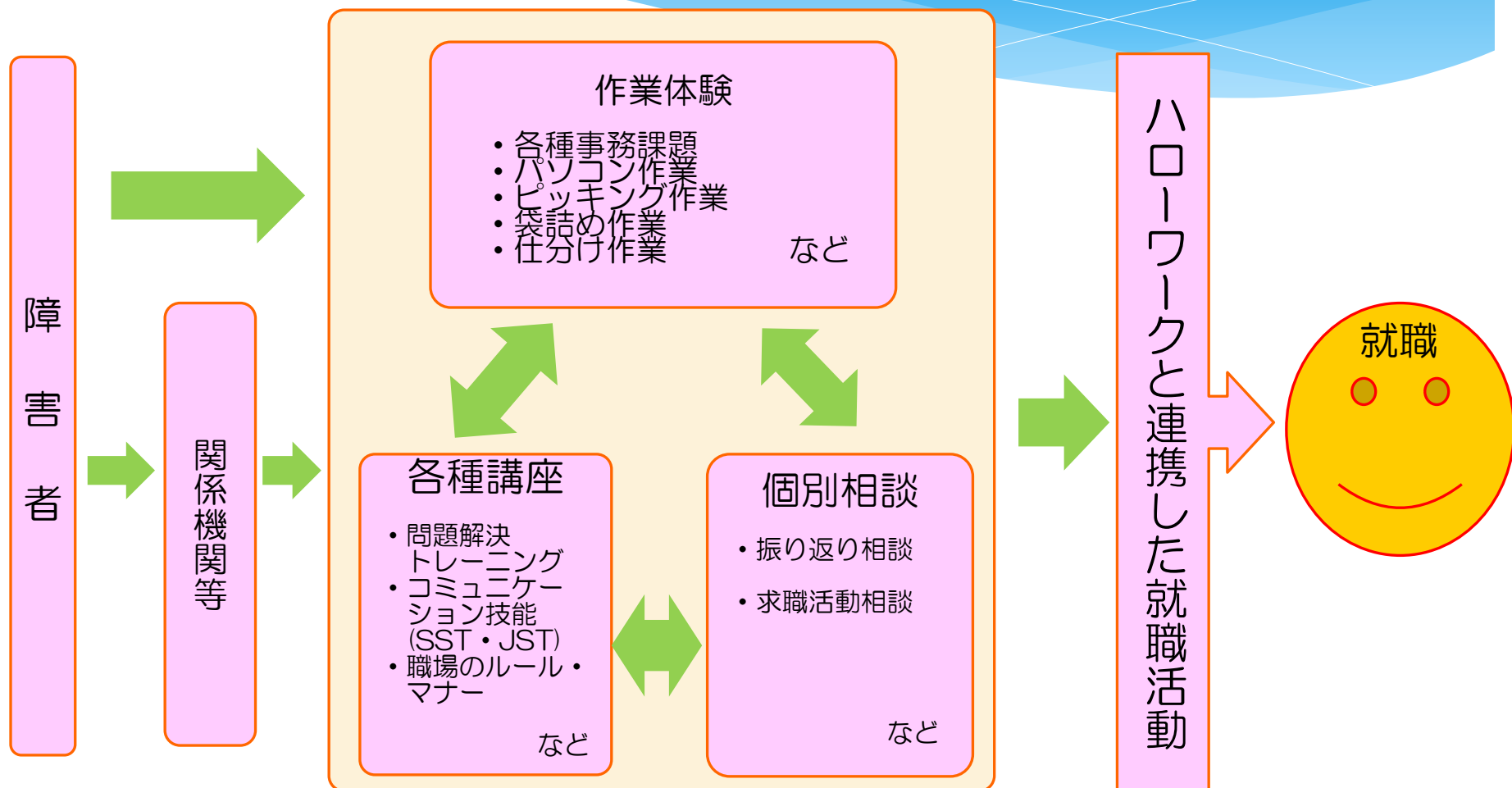
3-3 職業準備支援

➤ 精神障害や発達障害のある方が、自分の特徴（得手・不得手）や職場での配慮事項等の理解を深めて、企業等で働くことを目的とした支援です。

- ④ 長く働くために就労リズムを確立したい。
- ④ 自分に合った職務や職場を見つけたい。
- ④ 仕事を正確にできる方法を習得したい。
- ④ ストレス・疲労をコントロールしながら働きたい。
- ④ 職場でのコミュニケーションのコツを掴みたい。

就職への不安の軽減と自信の回復

職業準備支援の流れ



- ◆ 受講期間は、最長で12週間ですが、受講目的・体調等により、**受講内容・期間・時間等を個々に設定**します。
- ◆ 受講料は無料です。

職業準備支援のスケジュール（例）と支援風景

◆ 一週間の標準的スケジュール例（休日を除く平日）

	月	火	水	木	金
9時 ～ 12時	作業	ストレス・疲労 マネジメント 講座	問題解決技能 トレーニング	SST	ビジネスマナー
13時 ～ 15時	作業/ 個別相談	作業		作業	ナビゲーション ブック

職場のコミュニケーション



個別相談（振り返り）




OA作業



職業準備支援の利用例

◆ 利用のスケジュールは個々の状況にあわせて設定します。

例1)  なれない場面は緊張が高く疲れやすいので、いきなり毎日通所できるか不安…


⇒ 通所時間や頻度を徐々に伸ばしていくなど、目標や進捗状況に応じて柔軟に設定できます。

<イメージ>

開始～2週間 9時～12時×週3日



3週目～ 9時～12時×週4日

例2)  移行支援事業所に通所しながら利用したいけど…

⇒ 移行支援事業所等に通所しながら、必要な講座や作業のみ利用することが可能です。

<イメージ>

	月	火	水	木	金
9時～12時	(移行)	(センター)講座	(移行)	(センター)講座	(移行)
13時～15時	(移行)	(センター)作業	(移行)	(センター)相談	(移行)

職業に関する知識習得のためのプログラム

「ビジネスマナー」「職業の理解」「就職活動支援」に関するプログラム参加を通じて、職業に関する知識習得を目指します。

ビジネスマナー	ビジネスマナー	職場でのあいさつや身だしなみ、報連相など基本的なルールやマナーについて確認します。
職業の理解	事業所見学	実際の職場を見学して、具体的な職場のイメージを持てるようにします。
	職場体験実習	実際の職場での体験実習を通して、職業準備支援で取り組んだことの実践を行い、職業生活に必要なスキルの定着と実用性を高めます。
求職活動支援	オープン・クローズ	自身の障害や病気を開示することと開示しないことのメリット・デメリットについてグループ討議を通じて検討します。
	ハローワークの利用・相談	「求職条件整理シート」を使用して、希望の職種や職場環境等について整理し、ハローワーク等での求職活動の際に活用できるようにします。
	履歴書の書き方	履歴書を作成します。
	面接の受け方	模擬面接を行い、採用面接の基本的な流れを確認します。
	ジョブコーチ支援について	ジョブコーチ支援の役割や利用方法について説明します。

社会生活技能等の向上のためのプログラム

「対人技能」「ストレス対処」「特性の整理」に関するプログラム参加を通じて社会生活技能の向上を目指します。

対人技能	対人技能訓練（SST、JST）	ロールプレイや意見交換を行いながら、職場で必要となるコミュニケーションスキル（質問や報告・確認など）、対人関係での柔軟なコミュニケーションスキル（挨拶や上手な断り方・頼み方など）の向上を目指します。
	アサーショントレーニング	相手を不快にさせず、自分の考えも適切に伝える手法（アサーション）について学びます。
ストレス対処	問題解決技能トレーニング	職業生活で困ったことや改善したいことについて、問題の状況を整理したり、グループワークを通して具体的に実現可能な対処方法を検討するまでの流れを確認します。
	ストレス・疲労マネジメント	自身のストレスや疲労の発生要因について整理し、ストレスが生じた時のサインや対処方法のあり方を確認します。
	リラクゼーション技能	ストレッチ等の体操、筋弛緩法、呼吸法の演習やストレス温度計の作成を通じて、不安や混乱が生じた時の緊張を軽減するための技法を体得することを目的としています。
	リラクゼーション	職場で気分転換やリラックスする方法として、呼吸法やストレッチなどを紹介・体験し、その効果や重要性について理解を深めます。
	働くときに悩むこと	実際に自分が職場で悩んでいたことに対して、就職後実践できる解決策を検討するとともに、問題解決の習慣を身につけます。
特性の整理	ナビゲーションブック	面接などの場面で会社の方に自分の症状や特性をわかりやすく伝えるための説明書を作成します。
	キャリア講習	自分のキャリア（長い目で見た職業生活のあり方）や働く上での価値観を整理・再確認し、自分が思い描くキャリアと実際に期待される役割をどうすりあわせていくか、再発防止の視点を踏まえて対応を考え、就職後の働き方を考えます。

障害特性や職業上の課題の把握及び改善のためのプログラム①

「作業体験（実務・事務・OA作業など）」を通して、詳細な障害特性や職業上の課題を把握したり、集中力や体力の持続、ミスの傾向や集中力の持続などを確かめます。また通勤、基礎体力、集団参加等の基礎的な能力の向上を図ります。

【実務作業】

- プラグタップ組立・分解作業
- ピッキング作業
- 袋詰め・ラッピング作業
- 清掃作業
- 郵便物の仕分け など

【事務作業】

- 物品請求書作成
- 作業日報集計
- 数値チェック
- 書類の封入 など

【OA作業】

- 数値入力
- 文書入力
- 検索修正
- アンケート入力
- ビジネス文書作成 など



障害特性や職業上の課題の把握及び改善のためのプログラム②

「作業体験（実務・事務・OA作業など）」を通して、把握できた課題を改善・補完する方法を考えます。

ジョブリハーサル	集団でのチーム作業を通して、各々の作業遂行上の課題（ストレス・疲労への対処やコミュニケーションなど）を把握し、対処スキルの定着と実用性を高めます。
作業マニュアル作成技能	手順の確認を行って確実に作業を進める一つ的手段として、作業手順書・マニュアルの作成演習を行います。
メモリーノート	スケジュールや作業の進捗を自分自身で管理するためツールとして、メモリーノートを活用できるようにします。



職業準備支援終了者が従事している職務（例）

事務的な職務

データエントリ
(名刺作成、単純入力等)
郵便仕分け・配送前処理
ダイレクトメール作成・封入
シュレッダー掛け作業
スキャニング・コピー印刷
など

事務室清掃
会議室セッティング
回収ゴミの分別処理
客室清掃・セッティング
ホテルベッドメイク
ハウスクリーニング
など

清掃関係職務

ロジスティック関係職務

倉庫発送・運搬
段ボール梱包
ピッキング
伝票整理・チェック
配送順序揃え
出荷確認処理補助
など

老人ホーム介護補助
病院看護補助
保育園等の保育補助
(清掃・ベッドメイク・
ゴミ片付け・食事補助・
機材セッティング等)
など

介護・看護・保育補助

販売業務関係職務

パッキング
値札付け・シール貼り
商品入れ替え
バックヤード片付け
品出し・カート整理
接客補助・販売補助
ポップ作り
など

食器洗浄
配膳・下膳補助
清掃・テーブル整理
調理補助(盛り付け等)
調味料揃え
食器整理・準備
など

調理関係・補助職務

職業準備支援に関するQ&A

Q、職業準備支援は希望すればすぐに受けることができますか？

A、ご本人にある障害特性の整理や職業準備支援における目標設定を行うため、職業相談や職業評価、その後の職業リハビリテーション計画を策定することが必要です。その後、必要性を検討し、職業準備支援をご提案することになります。

Q、職業準備支援は全てのカリキュラムを受けなければいけませんか？

A、必要だと思ふもの、受たいものを選択して頂くことも可能です。また、週2日の利用から始めて徐々に週5日の利用まで延ばしていく、コミュニケーション講座のみを受講するということも可能です。

Q、求職活動は職業準備支援の期間が終了してからでないといけませんか？

A、体調や目標の達成状況にもよりますが、支援期間中から求職活動を行うことが可能です。主にハローワークを活用して、担当カウンセラーと相談しながら求職活動を行って頂きます。

Q、職業準備支援の期間を終了してしまったら、職業センターの支援は受けられないのですか？

A、定期的な電話での相談や、来所頂いての相談等で対応することができます。また、来所頂いた際にはハローワーク等で共に求職活動を行うこともできます。

➤ 障害のオープン・クローズを迷っている方への支援



オープン



クローズor迷っている

職業相談

- 困り感と理由の確認
- 一般的なメリット、デメリットの説明

継続相談

- 自主的な求職活動支援
- 必要に応じた助言等

職業評価

- 得意不得意の把握と具体的なメリット、デメリットの説明

職業準備支援

- 継続的な支援による自己理解の促進と配慮事項の整理

ジョブコーチ支援



➤ 障害者手帳を持っていない方への支援

職業相談

- これまでの生活歴や職歴、得意だったこと、困り感を抱いていたこと等を聴取
(障害者手帳を取得できる見込みがある場合には・・・)
- 障害者手帳取得のメリット、デメリットについて説明
(障害者手帳を取得できる見込みがない場合には・・・)
- 障害者手帳がなくても活用できる支援制度 (s職業相談・職業評価、職業準備支援、ジョブコーチ支援など) について説明

職業評価

- 障害や病気をオープンにするか、クローズにするかに関する相談
※それぞれのメリット、デメリットについて説明を行う

オープンにした場合

ジョブコーチ支援

- 手順書等の作成など作業遂行への支援
 - 職場でのコミュニケーション (報連相) 支援
 - 障害者の雇用管理に関する相談、助言
- ※難病等で通院が必要な場合等には、合理的配慮に関する助言

クローズにした場合

継続相談

- 支援機関が事業所に入り込まなくても問題解決できる方法を考える
- 具体的な場面の聴き取りによる問題の解決、コミュニケーション場面のロールプレイ等

➤ 就職への不安や自信がない方への支援

職業相談

- 過去の職歴等の確認
- 離職の要因の確認
- 病状の把握（主治医との連携）

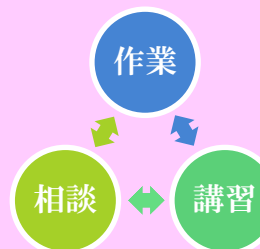
職業評価

- ストレス、疲労と職務遂行能力の影響を把握
- 生活・睡眠リズムの確認

職業リハビリ
テーション計画
作成

職業準備支援

- 作業での成功体験
- 職場でのコミュニケーション練習
- 問題解決技能トレーニング
- 得意、不得意、配慮事項の整理



職場実習

ジョブコーチ支援
計画の作成

ジョブコーチ支援